

令和2年度に認知したいじめの解消状況等について

1 令和2年度に認知したいじめの解消状況等について

令和2年度のいじめ認知件数は205件、当該年度内での解消は104件（解消率50.7%）。いじめ認知時期や、令和4年3月1日現在におけるその後の解消状況等は、以下のとおりとなっている。

なお、いじめを認知した場合、及び適切な学級指導や学年指導等を行い、「いじめに係る行為が止んでいる状態が少なくとも3か月継続し、被害者の心身の苦痛が解消したことを面談等で確認」した後、各校は、別紙「いじめの状況に関する報告書」により教育委員会へ報告することとなっている。

(1) いじめ解消時期等

	解消時期	全体	うち小学校	うち中学校
解消	認知と同年度	104件(50.7%)	81件	23件
	認知の翌年度	91件(44.3%) うち1学期認知2件 2学期認知50件 3学期認知39件	67件	24件
未解消	—	10件(5%)	4件	6件

(2) 加害者の人数

	全体	うち小学校	うち中学校
1人	91件(44.3%)	68件	23件
2人以上	90件(43.9%)	68件	22件
不明	24件(11.7%)	16件	8件

(3) いじめ解消までの平均日数

全体	178.1 日
うち小学校	177.8 日
うち中学校	179.2 日
認知と同一年度に解消	151.1 日
認知の年度と異なる解消	211.4 日
加害者 1 人	191.5 日
加害者 2 人以上	164.5 日
加害者不明	175.1 日

いじめの状況に関する報告書 作成者（ ） 報告日（ ）

○いじめを認知した時点で、報告書を提出してください。

○いじめられた児童1人につき1枚作成してください。

1 いじめられた児童生徒の状況

学校名		性別	男 ・ 女
氏名		認知した日または月	月 日
学年	年生	保護者への報告	有 ・ 無
保護者へ報告がない場合、その理由を記載してください			

2 いじめ発見のきっかけの具体的な内容を記載してください。

(誰がどうやって認知したか)

3 いじめの状況について、具体的な内容を記載してください。

--

4 いじめる児童生徒状況について、学年は数字を記載し、その後は該当する項目に○をつけてください。

※ 最大4人分のため、それ以上の場合は行を追加して記載してください。

対象児童生徒	学年	性別	事実確認	児童生徒への指導	謝罪	保護者への報告	保護者への指導
A	年生	男女	実施 未実施	実施 未実施	有 無	有 無	実施 未実施
B	年生	男女	実施 未実施	実施 未実施	有 無	有 無	実施 未実施
C	年生	男女	実施 未実施	実施 未実施	有 無	有 無	実施 未実施
D	年生	男女	実施 未実施	実施 未実施	有 無	有 無	実施 未実施
児童生徒への指導や保護者への報告や指導がない場合は理由を記載してください。							

5 学級指導や学年指導等を行った場合の具体的内容を記載してください。

(1) 学級・学年指導の有無とその内容

--

(2) その他の指導

--

○以下は、いじめ問題が解消した時点で追記し、学校教育課に提出してください。

6 解消の状況について記載してください。

※ いじめの解消とは、次の二つの要件を満たすこと。いじめに係る行為が止んでいること（少なくとも3ヶ月）、被害者が心身の苦痛を感じていないこと。

(1) 解消と判断された月日 （ 年 月 日）

(2) 解消と判断された理由。

--

7 いじめられた児童生徒への対応について、該当する項目に○をつけてください。

※複数回答可

(1) スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った。	
(2) 個別の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した。	
(3) 緊急避難として欠席させた。	
(4) 学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した。	
(5) 学級替えをした。	
(6) 当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した。	
(7) スクールソーシャルワーカーや関係機関と連携して対応した。	